

親子クイズ 474

Q 選択問題です。□には、どれが入る。

何かと話題の二酸化炭素ですが、化学式は①。その二酸化炭素を含む適度な温室効果ガスのおかげで現在地球表面の年平均気温は14℃くらいですが、温室効果が全くなければ②くらいまで寒くなります。

人間にとっても大切な水の化学式はH₂Oですが、これは、③と④との化合物です。

恵みの水が空からやってくる雨ですが、落ちてくる時は⑤の形をしています。

- ①の選択肢 C CO CO₂
- ②の選択肢 0℃ -9℃ -19℃
- ③と④の選択肢 炭素 水素 酸素 窒素
- ⑤の選択肢 丸いボール しずく まんじゅう

【第473回解答】

答え：KOHONANKOKU (広報なんこく)

【第473回当選者】

- 山本 直希 (岡豊町)
- 植村 優美 (大浦甲)
- 川西 泰弘 (大浦甲)
- 北村 広子 (十市)
- 北村 力雄 (十市)

★応募総数/89通

★正解率/98%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

■応募締切/11月14日(月)必着

■あて先/〒783-8501

南国市大浦甲2301

南国市企画課「親子クイズ」係

■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

4代で民謡



やまもと ゆきえ 山本 幸恵さん (緑ヶ丘)

夫と子ども2人の4人家族です。小学5年生のころから、高知市で民謡を指導する祖母の下、民謡と三味線を習い始め、18歳から4年間かけ県外で修行して名取になりました。高知に戻ってからは週2回、三味線教室で指導をしています。最近では学校や地域の催しに招かれるようにもなりました。知らない曲との出会いや他の方が歌う民謡を聞くことは、刺激になります。楽しい気持ちにさせてくれます。今後は子どもたちに民謡や三味線を教えていき、イベントなどを開けたらいいですね。

趣味はお祭り



やまもと なおひろ 山本 尚広さん (篠原)

自動車販売店に勤務しています。ずっと車の整備をしてきましたが、今は責任者のポジションとなり、事務的なことを担当するようになりました。物言わぬ車の故障を直すのは整備技術者の腕の見せどころ。正直言うと、車をつづいている方が楽しいです(笑)。私の住む大篠地区では、毎年夏に「豊年祭り」を開催しています。今年で40回目を迎えました。長年、子どもたちが祭りでも披露する「よさこい踊り」や「南国踊り」の指導をしています。もちろん、自分が踊っていた時期もありました。趣味は「お祭り」ですね。



環境だより

環境対策へのご理解・ご協力をお願いします

不要なレジ袋は断りましょう 南国市レジ袋削減運動

南国市では、ライフスタイルを転換する契機として、「南国市エコプラン実行計画」を策定し、『環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」』を目指しています。その一環として、ごみ減量や資源の節約を図りながら、二酸化炭素の排出量を削減できるなど、地球温暖化の対策にも貢献する取り組みである「レジ袋削減運動」を宣言しました。

今後、市内の量販店などに協力を依頼し、賛同していただける事業者も増やしていく予定です。市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

■宣言内容

- マイバッグを持参して、不要なレジ袋は断りましょう。
- 各事業者はそれぞれの方法で工夫し、レジ袋の配布・使用量を減らしましょう。



このマークが目印です

放射能で汚染された震災がれきは受け入れません

「南国市は、放射能で汚染されたがれきを受け入れるのではないか」といった内容の質問が市民の皆さんから寄せられています。

これは、今年4月、国からの調査に対して、放射性物質が含まれていないことや地元との合意が得られることを前提として「一定量の処理が可能」と回答したことによるものであると考えています。

南国市は放射性物質を含んだ廃棄物を受け入れることは全く考えていません。市長は6月議会でも「市民を不安に陥れる放射性物質の受け入れは一切しない」と言明しています。

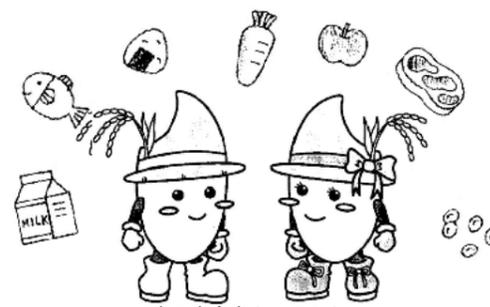
市民の皆さんには、大変ご心配をおかけしていますが、ご理解をよろしくお願いします。

※お問い合わせは 環境課環境係 (☎880-6557) まで

先日のラジオで、滞納している給食費を支払う代わりに、自分の子どもには「いただきます」と言わさないでほしいという話を聞いた。人間は、生命を維持するために食事を摂る。そのための食材は、いろいろな命の命だ。人が大切に育ててくれたものだから、湧く食材こそ、私たちのからだも心も満たされる食事であると思うのは私だけだろうか。今、私たちは、飢えを知らず当たり前のように食事を摂る。豊かな食材の種類や満足のできる量があり、自分の好みに合った食事をしている。好き嫌いや当然のようには通る。しかし、世界のあちこちでは、飢えに苦しんでいるたくさんの人々が、食べ物をめぐってさまざまな思いで暮らしている現実がある。今はまだ満足な食事をしている私たちにも、いつかそんな思いをする日がくるかもしれない。同時に、食事ができることへの感謝の気持ちを常に忘れず、食事に向かう姿勢を大切にしたいと思う。そして「孤食」や「個食」などの漢字で表現される食卓が少しでも減り、ぜいたくではなくても豊かな愛情のある食卓が増えることを願いたい。

※お問い合わせは、人権啓発広報委員会 (☎880-6569) まで

*このシリーズは、あなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。



南国市食育キャラクター こめおくん まいちゃん デザイン：高知東工業高等学校美術マンガ部

風評被害がニュースで報道される。また、天災による不作も食材への影響が懸念されている。私たちは、今こそ「食の大切さ」を見直す機会なのではないだろうか。